

放課後等デイサービス 事業所における自己評価の結果（公表）（令和3年8月）

事業所名 ワークステーション夢んぼ

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	必要なスペースを確保しています。	活動によって部屋を分けることや机の配置を変え、適切な人数とスペース確保しています。	
	② 職員の配置数は適切であるか			
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	月に1回以上のミーティングを行って支援内容を話し合っています。	その都度改善提案をして、実施し振り返りをしています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	実施しています。	面談の機会やノートで保護者のニーズの聞き取りを行っています。	プログラムや活動に反映し、保護者へのフィードバックをしています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開しています。		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	評価はしていません。	法人内のミーティングで意見交換、ケース検討を行っています（現在はコロナ感染対策中の為リモートで実施）。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	内部研修、外部研修を行っています。（現在はズーム等で行っています）	研修報告を行い、事業所内で共有しています。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者との面談での聞き取りやアセスメント表を基に作成しています。	直接支援するスタッフ間で日頃から本人の変化を共有しながらサービス計画を作成しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	事業所にあったアセスメントツールを使用しています。		アセスメントツールの内容改善に取り組んでいきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	全員での話し合いは難しいため個々での聞き取りをしています。	制作、調理など発達に合わせた課題を作り、グループに分けて取り組んでいます。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	大きなテーマを継続しているが、内容や工程を変えることで工夫しています。	子どもたちの成長に合わせた課題や、季節に合わせたプログラムなど工夫をしています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	活動プログラムだけでなく、生活面の支援を取り入れてます。	個々に合わせた支援（箸の練習、コミュニケーション等）を行っています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	作成しています。	個別活動、集団活動のどちらかに偏らないように両方取り入れています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	実施しています。	ホワイトボード等を使って、席の配置、グループ分け、タイムスケジュール、目的と内容の確認を行っています。	確認もれが無いように、確認のためのチェック項目を作成していきます。
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	当日もしくは翌日に振り返りを職員で行っています。	メモやホワイトボードを使って全職員が共有、伝達、確認できるようにしています。	スタッフ間で、より確実に共有できるよう、幾つかの方法を考え、コミュニケーションをとりながら共有していきます。	
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日の支援記録を記入しています。	支援記録を確認し、職員間で情報共有をしています。		

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回行っています。	保護者の方の意見を踏まえたり、家庭環境に応じて回数を増やしています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	地域交流はできていません。	外部の方に来ていただき、移動レストランの機会を作っています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参画しています。	日程等により参加できない時には、紙面、電話等で現状をお伝えしています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎時や電話等で確認を行っています。		
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	対象の利用者様がいません。		
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報を提供しています。	打ち合わせに出席できない場合は、紙面等で対応させていただきます。	
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	研修に参加しています。		
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	実施していません。		
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	法人として参加しています。		
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡ノートや面談、送迎時にお話をさせていただき情報共有をしています。	必要に応じて、電話等で連絡させていただいています。	
保護者への説明責	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	実施できていません。	面談等で困り事があった際はアドバイスをさせていただいています。	
	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に行っています。	契約時に説明をしています。利用者負担や、営業時間等の変更があった時は、紙面に案内させていただいています。	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	面談や電話等で相談の機会を設けています。	相談があった場合、複数の職員で相談しアドバイスしています。	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	進路説明会を行い、保護者同士で会う機会を設けています（現在コロナの為中止しています）		
	㉜	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	ノートや電話での相談や申し入れがあった場合、すぐに上司に連絡し迅速に対応しています。		
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報、ブログ、Instagramや、必要に応じてメール配信で発信しています。		
	㉞	個人情報の取り扱いに十分注意している	フェイスシートや個人情報記載書類は、鍵付きの書庫で保管しています。		
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	ホワイトボードやイラスト写真を使ったり、保護者の方には、連絡ノートや電話での伝達をしています。		

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	通年写真展、作品展を行っています（現在はコロナ感染対策の為実施できていません）。		

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時の対応	③⑦ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	各種マニュアルを職員に周知しています。年2回避難訓練を実施しています		
	③⑧ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年に2回の避難訓練の実施をしています。災害に備えた訓練も実施しています。	ウォーキングの際に避難経路の確認を行っています。	
	③⑨ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	保護者より情報をいただいています。	本人のアレルギーについて情報共有をしています。	
	④⑩ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット報告書を作成し、スタッフ全員が共有しています。	スタッフミーティングの際に再度検討する機会を設けています。	
非常時の対応	④⑪ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	月1回のチェックシートを利用して確認しています。	研修報告を行い、事業所内で共有しています。	
	④⑫ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	事前に個別支援計画に記載し保護者に確認を取っています。どのような場合、身体拘束が必要なのかスタッフ間で共有しています。	子どもの成長や変化に伴い、スタッフ間でルールを再確認しています。	
その他	④⑬ 意見			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。